

夏の日に来るか来るかと浜に出て

公営渡し舟は静かに

令和六年六月十六日

大中臣正比呂



越後獅子の浜唄が聞こえる。向こう岸が見えるほど近い島に住む人々は、
公営の渡し船で買物に出かける。昼の客は少なく、夏のデートには最適
だが、日傘は要る。諸兄は小千谷縮みを着て松の浜を一緒に歩きたまえ。